



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社 ホウスイ

上場取引所 東

コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 乃美 昭俊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 小林 留一

TEL 03-3543-3536

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	56,544	0.1	779	9.0	814	8.8	470	11.4
29年3月期第3四半期	56,479	4.7	714	49.7	749	44.4	531	71.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 545百万円 (11.2%) 29年3月期第3四半期 614百万円 (59.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	56.24	
29年3月期第3四半期	63.50	

平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	36,489	6,524	16.5	718.00
29年3月期	33,620	6,154	16.9	679.80

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 6,012百万円 29年3月期 5,692百万円

平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				2.00	2.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い平成30年3月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	0.3	860	7.6	880	3.5	430	39.1	51.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	8,379,000 株	29年3月期	8,379,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	5,018 株	29年3月期	4,892 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	8,374,065 株	29年3月期3Q	8,374,136 株
----------	-------------	----------	-------------

平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

平成29年6月27日開催の第82回定時株主総会の決議により、平成29年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合いたしました。

なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

(1) 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 2円00銭

(2) 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期5円13銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加や雇用情勢の改善、個人消費に持ち直しがみられるなど、景気は緩やかに回復しております。

一方、米国の政策動向やアジア新興国などの海外経済の先行き、欧州の政治不安などにより景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

水産・食品業界におきましては、節約志向を背景として個人消費に足踏みが続くなど、厳しい経営環境が続いております。このような状況の下、当社グループは引き続き消費者の食に関する基本的ニーズをとらえて的確に安全・安心な食品を提供し、グループの持つ設備や機能を最大限に活用して収益確保に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高565億44百万円（前年同期比64百万円増）、営業利益7億79百万円（前年同期比64百万円増）、経常利益8億14百万円（前年同期比65百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億70百万円（前年同期比60百万円減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、入出庫ともに取扱量が増加したことや保管料単価の上昇により、保管料売上や荷役料売上が増加いたしました。また、入出庫の増加に伴い荷役作業費が増加したものの、修繕費などの削減により、経費は前年並みとなりました。

その結果、売上高は40億23百万円（前年同期比1億11百万円増）となり、営業利益は4億54百万円（前年同期比35百万円増）となりました。

② 水産食品事業セグメント

水産食品事業セグメントは、水産食材卸売部門においては、主力商品であるエビの取扱数量の増加や販売単価の上昇により売上高・営業利益ともに前年を上回りました。

リテールサポート部門においては、天候不順による不漁により鮮魚の取扱が減少したことなどにより、売上高は減少いたしました。保管料などの経費の削減により、営業利益は前年を若干上回りました。

食品製造販売部門においては、新規取引先の獲得はありましたが、主要得意先の内製化などによる取引の減少により、売上高・営業利益ともに前年を下回りました。

その結果、売上高は525億21百万円（前年同期比46百万円減）となり、営業利益は3億25百万円（前年同期比27百万円増）となりました。

セグメント業績の詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比28億69百万円増加し、364億89百万円となりました。

流動資産は、売上債権の増加等により、前期末比32億98百万円増加の145億円となりました。

固定資産は、減価償却等により、前期末比4億29百万円減少の219億89百万円となりました。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比24億99百万円増加し、299億64百万円となりました。

流動負債は、仕入債務の増加等により前期末比29億1百万円増加し、159億84百万円となりました。

固定負債は、借入金の返済等により前期末比4億2百万円減少し、139億80百万円となりました。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、株主配当金の支払1億67百万円等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が4億70百万円となったことなどにより、前期末比3億70百万円増加の65億24百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想は、平成29年5月15日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,456	1,240
受取手形及び売掛金	5,568	9,666
商品及び製品	1,927	1,853
原材料及び貯蔵品	18	26
関係会社預け金	1,299	1,502
繰延税金資産	25	25
その他	911	191
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	11,201	14,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,997	24,189
減価償却累計額	△9,668	△10,213
建物及び構築物(純額)	14,329	13,976
機械装置及び運搬具	4,925	4,959
減価償却累計額	△2,866	△3,064
機械装置及び運搬具(純額)	2,059	1,895
工具、器具及び備品	479	510
減価償却累計額	△306	△345
工具、器具及び備品(純額)	172	164
土地	4,458	4,553
リース資産	771	799
減価償却累計額	△378	△398
リース資産(純額)	393	401
建設仮勘定	0	15
有形固定資産合計	21,413	21,006
無形固定資産		
のれん	169	148
その他	190	204
無形固定資産合計	360	352
投資その他の資産		
投資有価証券	388	413
長期貸付金	70	68
繰延税金資産	28	19
破産更生債権等	22	22
その他	185	155
貸倒引当金	△49	△49
投資その他の資産合計	645	630
固定資産合計	22,418	21,989
資産合計	33,620	36,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,653	8,778
1年内返済予定の長期借入金	386	377
1年内返済予定の関係会社長期借入金	159	159
短期借入金	5,000	4,480
関係会社短期借入金	400	400
リース債務	133	138
未払法人税等	161	171
賞与引当金	82	24
役員賞与引当金	15	8
本社移転損失引当金	4	4
その他	1,084	1,440
流動負債合計	13,082	15,984
固定負債		
長期借入金	11,474	11,191
関係会社長期借入金	1,721	1,602
リース債務	264	267
退職給付に係る負債	753	785
長期預り保証金	11	6
長期未払金	62	61
繰延税金負債	10	9
資産除去債務	47	47
負ののれん	36	9
固定負債合計	14,382	13,980
負債合計	27,465	29,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,220	1,220
利益剰余金	1,900	2,203
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,604	5,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	105
その他の包括利益累計額合計	88	105
非支配株主持分	462	512
純資産合計	6,154	6,524
負債純資産合計	33,620	36,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	56,479	56,544
売上原価	52,042	52,085
売上総利益	4,437	4,458
販売費及び一般管理費	3,722	3,679
営業利益	714	779
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	21	1
負ののれん償却額	27	27
賃貸収入	16	15
仕入割引	32	33
雑収入	39	35
営業外収益合計	140	116
営業外費用		
支払利息	101	77
雑支出	4	3
営業外費用合計	106	81
経常利益	749	814
特別利益		
補助金収入	125	—
受取補償金	—	173
特別利益合計	125	173
特別損失		
移転延期損失	—	185
特別損失合計	—	185
税金等調整前四半期純利益	875	802
法人税等	285	273
四半期純利益	589	529
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	531	470

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	589	529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	16
その他の包括利益合計	25	16
四半期包括利益	614	545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	556	487
非支配株主に係る四半期包括利益	58	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,912	52,567	56,479	—	56,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	12	166	△166	—
計	4,065	52,580	56,645	△166	56,479
セグメント利益	418	298	716	△1	714

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,023	52,521	56,544	—	56,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	147	12	159	△159	—
計	4,170	52,533	56,704	△159	56,544
セグメント利益	454	325	779	—	779

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。